競技注意事項

１．競技規則

本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開についてのガイダンス「【第３版】競技会再開について（2021年1月15日）」に基づいて実施する。

２．競技者案内所（ＴＩＣ）

競技者案内所（ＴＩＣ）を競技場正面入口 1 階ロビーに置き、次の業務を行う。

⑴ 各種問い合わせ、審判長への抗議・上訴の受付、落とし物の取り扱いなど。
⑵ プログラム販売（１冊500円）。
⑶ マスクの販売（１つ100円）
⑷ 会場入場者の管理
⑸ 競技に持ち込んで使用するやりの受付と返却。
⑹ 滑り止め（炭酸マグネシウム）入れの容器の販売（１つ１００円）
⑺ 入賞者の賞状の配布。

３．受付

⑴ 競技者受付は7時30分からＴＩＣにて行う。
⑵ 受付の前に、体調管理チェック表の提出をする（全員分を揃えること）。なお、提出のない者は競技会に参加することができない。
⑶ 受付の際には、プログラムと一般競技者にはアスリートビブスを配布する。
⑷ プログラムの記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属等）については、プログラム訂正用紙（プログラム巻末に掲載）を提出する。

４．招集

⑴ 各種目の招集完了時刻は、プログラム競技日程記載のとおりとする。
⑵ 競技場所への入場は第4ゲート（100mスタート地点後方）のみとする。
⑶ プログラム記載の招集開始時間から競技場所へ入場することができる。入場の際、係員がアスリートビブス、スパイクピン・商標・競技注意事項6⑷②に該当する持ち物等のチェックを行う。また、5.⑵の該当競技者には腰ナンバー標識の配布を行う。
⑷ 招集完了時刻に、各競技場所（トラック：スタート地点/フィールド：競技場所）にてアスリートビブスのチェック（最終点呼）を行う。
⑸ 代理人による招集は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、第1種目の招集時に招集所備え付けの「2種目同時出場届」を競技者係（入場ゲート係員）に提出すること。届け出が完了すれば、第2種目の招集を事前に受けることができる。
⑹ 欠場する場合は、本人または代理人が必ず競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は当該競技を欠場したものとみなす。
⑺ 競技場内への入退場は、すべて競技役員（競技者係・マーシャル等）の指示・誘導によって行う。また、出場する選手以外は競技場内に入らないこと。
⑻ 棒高跳については、招集時に「アップライト申告書」を提出すること。

５．アスリートビブス

⑴ アスリートビブスは、そのままの大きさで胸と背部に確実に固定すること（跳躍競技については胸または背部どちらかでよい）。（TR5.7／5.8／5.9）
⑵ トラック競技者は、腰ナンバー標識をパンツ右側の上部やや後ろにつけること。このカードは競技者係（入場ゲート）で受け取り、フィニッシュ後は返却する必要はない。さらに3000mを超える種目の競技者は、胸と背にレーンナンバー標識をつけること。カードを受け取っただけでは、招集完了とならないので注意すること。

６．競技方法

⑴ トラック競技
①レーン順はプログラム記載通りとする。
②短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
③リレー競走の競技者は、大きさが最大50mm×400mm の粘着テープ（マーカー）を1 箇所、自身のレーン内に貼ることができる。マーカーは競技者が用意する。次走者のつけたマーカーは、走り終わった前走者が必ずはがすこと。

⑵ フィールド競技
①試技順はプログラム記載通りとする。
②フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

競技注意事項

③助走路が使われるフィールド競技（走高跳を除く）では、助走路の外側に主催者が準備したマーカーを2個まで置くことができる。走高跳は競技者が準備したマーカーを助走路内に2個まで使うことができる。

④サークルから行う投てき競技では、サークル直後あるいはサークルに接して、主催者が用意したマーカーを1個だけ置くことができる。これらのその撤去は使用した競技者が責任をもって行うこと。

⑤走高跳および棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下のとおりとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め変更することもある。

種目	練習の高さ	1	2	3	4		
男子走高跳	1m70／1m85／2m00	1m75	1m80	1m85	1m90	2m00まで5cmずつ	以後3cm ずつ
女子走高跳	1m35／1m45／1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60まで5cmずつ	以後3cm ずつ
男子棒高跳	3m00／3m70／4m40	3m00	3m10	3m20	3m30	以降10cmずつ	
女子棒高跳	2m00／2m50／3m10	2m00	2m10	2m20	2m30	以降10cmずつ	

⑥三段跳の踏切板は、男子12m、女子が9mの地点に設置する。ただし、天候などの状況によって、変更する場合がある。

⑦ウォーミングアップ場での投てき練習は、砲丸投に限り概ね競技開始2時間前より行うことができる。円盤投、ハンマー投、やり投については、メイン競技場において競技日程記載の「会場入場開時間」より練習を行うことができる。

(3) 抗議と上訴

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）に、その種目に出場した競技者自身または代理人がＴＩＣまで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、ジュリーに上訴することができる。（TR8）

その手続きは、「上訴申立書」を記入し預託金（1万円）を添え、ＴＩＣまで申し出ること。

(4) 助力

①競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。（コーチング、トイレ等）

②ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、ＣＤ、トランシーバーやスマートフォンもしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。

③コーチ等からの助言は競技場区域外（スタンド）のみとし、コーチングエリアは設けない。その際、そこで録画した映像を見せることは助力にはならないが、録画した機材（スマートフォン・ビデオカメラ等）を競技区域内にいる競技者が手に持って見た場合は助力とみなす。

７．その他

(1) 競技で使用する用器具はすべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール、やり投用やりは、個人所有のものを使用できる。やりの持ち込みについては、招集完了時刻の1時間前までにＴＩＣに持参し、返却もＴＩＣで行う。やりの持ち込み希望者は、招集完了時刻の1時間前までにＴＩＣに持参し検査を受けること。検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。なお、競技終了後にＴＩＣで返却する。（TR32.2[国内]）。

(2) スパイクピンの長さは9㎜以内とし、走高跳・やり投は12㎜以内とする。

(3) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。

(4) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。

(5) スタンドからの撮影は、その選手の関係者のみ許可し、それ以外の撮影は認めない。また、撮影禁止エリアでの撮影は一切できない。

(6) ウォームアップ場（補助競技場）への監督・コーチの入場は認める。ただし、雨天走路への入場は、混雑が予想されるので、認めない。

(7) 競技場所からの退場は、第1ゲート（フィニッシュライン）後方のみとする。競技終了後、指定された動線を通り、手洗いを済ませてから退場すること。

(8) 新型コロナウイルス感染対策については、別紙「大会に参加する皆さまへのお願い」を熟読し、クラスター発生の防止対策を徹底すること。

(9) 新型コロナウイルス感染防止対策のため、医務室でのトレーナー業務はしない。チーム毎対応すること。

(10) 各種目８位までの入賞者に、賞状を授与する。表彰式は行わないので、賞状はTICで受け取ること。